



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー  
 コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	70,689	13.2	12,813	26.0	12,949	39.7	8,627	64.1
29年3月期第1四半期	62,419	10.5	10,173	19.1	9,269	3.3	5,256	8.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 9,206百万円 (125.0%) 29年3月期第1四半期 4,091百万円 (△25.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	151.24	—
29年3月期第1四半期	92.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	250,556	182,607	67.2	2,953.41
29年3月期	247,191	177,130	66.3	2,871.60

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 168,474百万円 29年3月期 163,807百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	47.00	—	63.00	110.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	63.00	—	63.00	126.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	134,000	6.5	19,000	1.6	19,200	9.1	10,700	6.3	187.57
通期	282,000	5.7	41,500	6.0	41,900	5.9	23,800	9.9	417.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	60,592,541株	29年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,548,455株	29年3月期	3,548,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	57,044,096株	29年3月期1Q	57,044,296株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)

セグメントの名称	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	45,791	73.4	53,870	76.2	8,079	17.6
コスメタリー事業	16,137	25.8	16,309	23.1	172	1.1
その他	490	0.8	509	0.7	18	3.8
売上高計	62,419	100.0	70,689	100.0	8,269	13.2

区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	10,173	16.3	12,813	18.1	2,640	26.0
経常利益	9,269	14.9	12,949	18.3	3,679	39.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,256	8.4	8,627	12.2	3,370	64.1

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)における日本経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復の基調が続きました。化粧品業界におきましては、平成29年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、販売個数は前年を下回りましたが、販売金額が前年を上回りました。また、海外において当社グループが主に事業展開をしているアジア・米国経済につきましては、総じて見れば景気回復の基調にあるものの、米政権の政策運営や世界的な地政学リスクの高まりなど、先行きの不透明感が強まる状況となりました。

このような市場環境の中、当社グループは、中期経営計画「グローバルブランド育成期」の最終年度を迎え、「世界に通用するブランドの育成」と「経営資産の継続的なパフォーマンス向上」の2つの基本戦略のもと、世界で存在感のある企業への進化を目指し、一段と成長のスピードを加速させてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、化粧品事業が前年を大幅に上回り、売上高は前年同期比13.2%増の70,689百万円(為替の影響を除くと前年同期比13.6%増)となり、第1四半期としては6期連続で過去最高となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は23.4%となりました。

利益につきましては、原価率が上昇したものの、増収効果に加え、販売費及び一般管理費の効率的な運用により、営業利益は12,813百万円(前年同期比26.0%増)、経常利益は12,949百万円(同39.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,627百万円(同64.1%増)となり、いずれも過去最高となりました。

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、高級化粧品を扱う(株)アルビオン、米国タルト社及び高付加価値ブランド「コスメデコルテ」が業績を牽引しました。また、プレステージ領域においては、和漢植物エキス配合のスキンケアブランド「雪肌精」が堅調に推移したほか、日本で唯一、肌の水分保持能を改善する効果のある有効成分「ライスパワー®No.11」を配合した「ONE BY KOSÉ 薬用保湿美容液」、メイクアップブランド「エスプリーク」等が売上を拡大しました。これらの結果、当事業の売上高は53,870百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益は12,388百万円(同22.4%増)となりました。

コスメタリー事業につきましては、コーセーコスメポート(株)が展開する重点カテゴリーブランドの「ソフティモ」が伸ばしたほか、機能性メイクブランド「ファシオ」、手軽に豊富なカラーバリエーションを楽しめるネイルブランド「ネイルホリック」などが好調でした。これらの結果、当事業の売上高は16,309百万円(同1.1%増)、営業利益は1,378百万円(同47.7%増)となりました。

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は509百万円(同3.8%増)、営業利益は229百万円(同5.7%減)となりました。

## 地域別売上高(外部顧客に対する売上高)の状況

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	51,918	83.2	54,146	76.6	2,228	4.3
アジア	5,006	8.0	6,912	9.8	1,906	38.1
北米	5,339	8.5	8,971	12.7	3,632	68.0
その他	155	0.3	658	0.9	502	322.8
売上高計	62,419	100.0	70,689	100.0	8,269	13.2

(注) 当第1四半期連結累計期間より、地域別売上高の区分を従来の「欧米他」から、「北米」及び「その他」に変更しております。なお、前第1四半期につきましては、変更後の区分方法にて作成したものを記載しております。

## &lt;日本&gt;

ハイプレステージ領域のブランドを中心に展開する百貨店チャネルが好調だったほか、プレステージ領域及びコスメタリー事業のブランドを中心に展開するドラッグストアチャネルも伸長しました。また、インバウンド売上につきましては、百貨店チャネルでの売上が拡大したことにより、前年に比べ増加しました。これらの結果、売上高は54,146百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

## &lt;アジア&gt;

構造改革が終了した中国や免税チャネルが好調な韓国が牽引したほか、それ以外の国や地域においても概ね順調に推移した結果、売上高は6,912百万円(同38.1%増)となりました。

## &lt;北米&gt;

米国タルト社が計画を大幅に上回る業績で牽引した結果、売上高は8,971百万円(同68.0%増)となりました。

## &lt;その他&gt;

欧州や豪州などで米国タルト社の販売が好調だった結果、売上高は658百万円(同322.8%増)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	71,921	79,963
受取手形及び売掛金	38,328	37,253
有価証券	12,672	1,335
商品及び製品	20,982	25,698
仕掛品	2,086	2,773
原材料及び貯蔵品	17,660	20,741
繰延税金資産	5,647	4,636
その他	2,823	2,791
貸倒引当金	△47	△43
流動資産合計	172,074	175,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,087	37,495
減価償却累計額	△19,686	△19,932
建物及び構築物(純額)	17,400	17,562
機械装置及び運搬具	15,242	15,214
減価償却累計額	△11,759	△11,672
機械装置及び運搬具(純額)	3,482	3,542
工具、器具及び備品	34,511	34,652
減価償却累計額	△29,442	△29,391
工具、器具及び備品(純額)	5,068	5,260
土地	16,524	16,533
リース資産	1,637	1,738
減価償却累計額	△1,094	△1,144
リース資産(純額)	543	593
建設仮勘定	1,801	1,744
有形固定資産合計	44,822	45,235
無形固定資産		
ソフトウェア	1,445	1,439
のれん	8,479	8,185
その他	7,814	7,418
無形固定資産合計	17,739	17,043
投資その他の資産		
投資有価証券	6,864	7,819
繰延税金資産	3,156	2,829
その他	2,727	2,674
貸倒引当金	△193	△195
投資その他の資産合計	12,554	13,126
固定資産合計	75,116	75,406
資産合計	247,191	250,556

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,533	12,764
電子記録債務	11,978	15,140
短期借入金	1,016	824
リース債務	174	199
未払金	12,184	8,833
未払費用	10,964	7,256
未払法人税等	6,077	2,441
未払消費税等	1,242	1,772
返品調整引当金	1,998	1,740
その他	862	3,616
流動負債合計	56,033	54,590
固定負債		
リース債務	438	470
役員退職慰労引当金	2,346	2,360
退職給付に係る負債	8,207	7,651
繰延税金負債	2,583	2,433
その他	452	442
固定負債合計	14,027	13,357
負債合計	70,060	67,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,388	6,388
利益剰余金	157,205	162,238
自己株式	△9,093	△9,093
株主資本合計	159,348	164,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	2,040
為替換算調整勘定	3,915	2,873
退職給付に係る調整累計額	△918	△820
その他の包括利益累計額合計	4,458	4,092
非支配株主持分	13,323	14,133
純資産合計	177,130	182,607
負債純資産合計	247,191	250,556

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	62,419	70,689
売上原価	14,542	18,179
売上総利益	47,877	52,510
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	4,123	3,992
販売促進費	11,683	12,164
運賃及び荷造費	2,179	2,662
給料及び手当	10,574	11,007
退職給付費用	455	481
法定福利費	1,554	1,655
減価償却費	714	724
その他	6,418	7,007
販売費及び一般管理費合計	37,704	39,696
営業利益	10,173	12,813
営業外収益		
受取利息	46	30
受取配当金	36	37
特許実施許諾料	18	17
有価証券償還益	70	27
雑収入	65	62
営業外収益合計	237	175
営業外費用		
支払利息	1	3
支払手数料	1	1
為替差損	1,126	30
雑損失	10	4
営業外費用合計	1,141	39
経常利益	9,269	12,949
特別利益		
固定資産売却益	82	3
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	82	4
特別損失		
固定資産処分損	12	31
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	15	31
税金等調整前四半期純利益	9,337	12,921
法人税、住民税及び事業税	2,054	2,390
法人税等調整額	1,273	915
法人税等合計	3,328	3,305
四半期純利益	6,009	9,616
非支配株主に帰属する四半期純利益	752	989
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,256	8,627



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	6,009	9,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△361	578
為替換算調整勘定	△1,651	△1,096
退職給付に係る調整額	95	108
その他の包括利益合計	△1,917	△409
四半期包括利益	4,091	9,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,388	8,261
非支配株主に係る四半期包括利益	703	945

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	45,791	16,137	61,929	490	62,419	—	62,419
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	119	119	145	264	△264	—
計	45,791	16,257	62,048	636	62,684	△264	62,419
セグメント利益	10,117	933	11,051	243	11,294	△1,121	10,173

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	18
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,139

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
51,918	5,006	5,339	155	62,419

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	53,870	16,309	70,180	509	70,689	—	70,689
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	73	73	162	235	△235	—
計	53,870	16,383	70,253	671	70,925	△235	70,689
セグメント利益	12,388	1,378	13,767	229	13,996	△1,182	12,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	34
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,217

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
54,146	6,912	8,971	658	70,689

(注) 当第1四半期連結会計期間より、従来の「欧米他」に含まれていた「北米」の重要性が増したため、「北米」及び「その他」に区分して記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間の「3. 地域に関する売上高情報」は、変更後の区分に組み替えて表示しております。